

久山中便り

久山中学校

令和8年5月27日発行

第17号

学力を高める集中力

福岡県学力調査

26日(火)は、福岡県学力調査を実施しました。

先日、行われた全国調査は、小六、中三が対象でしたが、福岡県では、独自に、小学校四・五年、中学校一・二年生を対象に実施しています。さらに、CBT方式での実施です。つまり、紙のテストではなく、タブレットに回答を入力する方法でした。一・二年生も慣れていることもあり、スムーズに進みました。

実は、4月に行った学力分析テストでは、一・二年生共に、結果があまり良くありませんでした。学力は、一気に身に付くことはありません。

中学校での学習内容、小中学校とは違つて、質、量と



もに高く、そして、多くなります。だからこそ、着実に身に付けていくことが大切です。一コマ一コマの授業に集中して、自分自身の実力を磨いていってほしいと思います。

道徳の町宣言50周年記念

前号でお伝えしたように、今年、道徳の町宣言から50年。中学生には、「次の50年に伝えたい 道徳の町久山へのメッセージ」と題した作文が募集されています。

25日(月)の4時間目は、全校道徳で、久山町のこれまでの歩みを振り返りました。

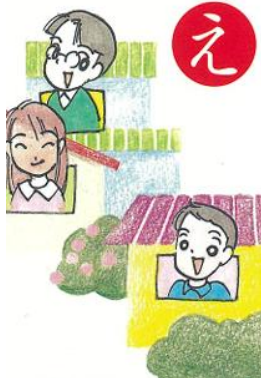
昭和52年の久山町は、青少年非行検挙率、福岡県内ワースト1位。そこで、「学校、家庭、地域」が一体となった取り組みをスタートさせ、久山町道徳推進委員会を発足させています。その主な取組は三つ。

「道徳カルタ大会」「アンビシャス子ども相撲大会」「毎月のあいさつ運動」です。

小学校では、町をあげて「道徳カルタ」大会が、現在も行われています。

今回もそのカルタを紹介して、その「読み札」を思い出してもらいました。

「笑顔です 向こう三軒 両隣」。



やはり、一年生が一番覚えていたようです。50年前から大切にされてきた久山町の道徳の心。

次の50年にしっかりとメッセージとして伝えるためにも、秀逸な中学生の作文を期待しています。

次の取組へ

体育会が終わったばかりですが、各学年は、次の行事に向かって取組を進めています。

一年生は、宿泊体験学習のオリエンテーションを行いました。期日は、9月2日(水)〜4日(金)の2泊3日。施設は、少年自然の家「玄海の家」(宗像市)です。

野外炊飯や集団行動など、一年生としての絆や団結力を、さらに深めるための活動が予定されています。

先生からは、自分たちがさらに成長できるようなスローガンを自分たち自身で決めるように指示がありました。

どんなスローガンを掲げた体験学習になるのか、今から楽しみです。

